	科目名	音楽ビジネス・マネージメント 2								2024	
Ī	英語科目名	H目名 Music Business & Management 2							学期	後期	
Ī	学科・学年	コンサート・イベント科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義	
	担当教員	本多功一	教員の実務経験		有	実務経験の職種舞		舞台監督	監督、コンサート制作		

## 【科目の目的】

アメリカ発祥の音楽ビジネスは、日本の学問としての歴史は浅い。しかし室町より舞台が芸能の特別な場として位置づけられた歴史もある。エンタテインメント産業に於ける業務としての舞台(ステージ)制作、プロダクションや音楽出版など権利ビジネスをベースにした事業展開について歌モノを中心として広く取り扱い、人対人というアナログな双方向について、幅広く業種や職種における必要な情報を整理・獲得し、常に知的好奇心やアイデンティティを持ったスタッフとして、パフォーマーとの共同作業者として活躍するために、幅広く領域をカバーし、ビジネスとしてセルフを含めた広義でのマネジメントスキルを身につけていく。

## 【科目の概要】

前期において、各科目で実施されている科目内容の理解を前提に、コースに特化していも共通事項として、また他のコースでは専門的に行われている内容も、就職した会社の業態により求められる知識までを想定し、共有事項としておくべき範囲も踏襲していく。 また、就職活動を控えている時期になるため、自分を伝えること、アーディストなどから学んだアーデンティティを、自分に置き換え自分らしさを伝えること、前期で知り得た業務から興味を持った(より深めた)ことを追及していくためのヒントも数多く提供し、自らがこの仕事でやっていくという意思を固めていくために必要な情報を提供していく。あくまで担任、CSCの指導をベースに補完的な位置づけて実施する。

#### 【到達目標】

授業で伝達すべきねらいとして設定する履修目標・内容に対して、それを受講した際、習得意欲をもっての理解を到達目標とする A. エンタテインメント産業に求められる資質を理解し、客観性と妥当性を備えた自分らしさを伴う意見を持つこと B. 進取の姿勢で得た新たな知識・情報を確実に習得し、獲得したそれらを結びつけることで理解をしていく C. 産業の全体像を把握し、産業間での連携や基本業務、用語などを確実に理解して現場に出る素地を形成していく

C. 産業の全体像を把握し、産

#### 【授業の注意点】

授業開始時には筆記(入力)ができる状況にしておく。要点や不明点を書き出し調べ、解決ができないことは質問をする。知的 好奇心を持ち続け、波及・派生した情報を自得していく。

	評価基準=ルーブリック							
ルーブリック	リック レベル5 レベルム		レベル 3	レベル2	レベル 1			
評価	Z価 優れている よい		ふつう	あと少し	要努力			
到達目標 A	連業種を理解した上で 工程を作成でき、制作	経営的視点からビジネスとしての産業という 視座を有し、不成功事 例からの活用を引き出 せる。	ジャンルなどを例にして、数ある現行の手法	業務に対する職業人の 思考から、その意図す るところを理解でき る。肯定できる理由を 説明できる。	を脱し、他者の意見・ 文書をいったん自分に			
到達目標 B	広く得た知識を知恵と して変換し、それらを 活用することで文字・ 言語化して伝達する力 を有する。	得意なジャンルに限らず知識を応用することで、各種の制作を実施するための基礎が備わっている。	れらを理解しながら	知的好奇心を持ち、興 味のあることから身近 な素材を使い、調べる 習慣を体得することを 求める。	セグメント実務に欠け る。問題点などをまと			
到達目標 C	現場で困らないために 必須な応用する力を有 し、必要な情報活用能 力を自得により醸成さ せている。	注について理解し、いろ いろなケースに応じて変	各業種での内容と関連 業種について具体的な やりとりを理解してい る。	産業の理解を必要と し、各業種での内容と 関連業種について作品 (商品)の視点での把 握を求める。	各業種に求められる考			
F#LCO ===								

授業内で使用する必要がある場合は配布、当日実施した授業内容の要点のまとめ、追加事項を毎回分Webでアップロードする

# 【参考資料】

逐次授業内で指示、予備的に情報を要求する場合は授業最後に、またWeb上で指示する

## 【成績の評価方法・評価基準】

定期試験、授業内課題、定期提出物、簡易試験

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

接来テーマ   各接業の目的	2	2024	
数急対応   (大学集での教急	包	发期	
1 数急対応	評価方法	i 記 評	
1	3		
2 コンサートスタック カッフ業務の手側研究 2 方面がある。			
2 カー・スタック・ファス等の手術研究会			
2 1 を表方スタッフに特化 して理解する 3 実施から公演後 作成する薬剤によなどを解し、現場に添加できるようにする。 3 実施から公演後 作成する薬剤によなどを解し、現場に添加できるようにする。 3 実施から公演後 作成する薬剤によなどを解し、現場に添加できるようにする。 3 実施からの演奏 で表がスタッフとしてその業務を強硬する。 2 全種図面 会社ごとに違う図面の工夫を紹介し自分なりの活用を加える。 3 当日だけではない 表方な企画・操作までを担当できる一定のレベルを獲得する。 2 オッピージ・そう スタッフにもか ころなることを体感して スタッフにもしたで表したのであることを体感して スタッフにもしたを求められる手側を破り、理解する。 3 当日だけではない スタッフにもしたを求められる手側を破り、理解する。 3 当日だけではない スタッフにもしたを求められる手側を破り、理解する。 3 当日だけではない スタッフにもしたを求められる手側を破り、理解する。 3 当日だけではない スタッフにもしたを求められる手側を破り、理解する。 3 から前く 2 オッピール 2 マニェアルではない自分段とをを紹介し、きっかけを作る。 3 から前を別負から見ることで訴えを獲得する。 1 SPI 収職が繋での対の視点を紹介し自己性と複数化応募に対応でいると表情感と関係する。 1 SPI 収職が表での対の視点を紹介し自己性と複数化応募に対応でいると表情感 当たり前を列角使から見ることで訴えて起点を獲得する。 1 SPI 収益会解する 2 自分を知る マニエルではない自分段とをを紹介し、きっかけを作る。 2 コンセフトとは まずはコンセフトありき。イベント機造を解する。 2 コンセプトとは まずはコンセフトありき。イベント機造を関係する。 2 日本国内の人口 公演数の表立を必要が自動を発展する。 3 社会の報題 第一次の表情を手間を理解しておく。 2 オートを関係を知る 3 社会の相場 エジボトで関連の素がの流れを理解しておく。 2 オーのを問題を確認する。 3 業務後と民生機 民生機 同業が向上しても根本的な途いを理解しておく。 2 オーのを用の場合、著作権認をできかっを指しておく。 2 オーのを用の場合、著作権認をできかっの申請書類を確認、コンサートでは必要があると表情のといると対しまが、ファーフルの固面 会社ことに作成が異なるが現るではという。 2 利用整定とに関却の確 カーノを規制のであり 2 対な 2 目の変をと 2 利用整定とに関却の確 カーノを規制のであり 2 対な 2 目の変をと 2 利用を定とに関却の確 カーノを規制のである 2 目前を確認する。 3 データーフルの固面 会社ことに作成が異なるが現るではない。 2 利用を定とに関わる権利 フジオでなどを表がして認定する。 2 利用を定とに関わる権利 フジオでなどとポルトできを発音を確認しておく。 2 利用を定とに関わる権利 フジオでなどとなぶりにでおく、2 利用を定とに対していることがあれば確 2 目前を格別 フジオでなどとなが、1 音をのあらいに使わないようにしておく。 2 利用を定とに対していることがあれば確 2 目の変と 2 になら、 3 用用を定とに対していることがあれば確 2 目がを 2 になら、 3 開発を作うしてきぬき 2 目がを 2 に対しない。 3 年後の表別ででなどにない。 3 年後の表別ででなどにない。 3 年後のよりにない。 3 年後の表別ではない。 3 年後の表別ではない。 3 年後の表別ではない。 3 年後の表別ではない。 3 年後の表別ではない。 3 年後の表別ではないないなどはない。 4 年後の表別ではないなどはないなどので表とも表別ではない。 4 年後の表別ではないなどないないなどないないなどので表がないまないないなどので表がないもないないなどので表がないまないないないないないないないないないないないないないないないないないない			
3 コンサートスタック   2 大部の	3		
2 全種の大きのでは、			
# アイデンティティ の人らしさを渡し取った	3		
4 セミュージシャン スタッフにもらしさを求められる事例を紹介、理解する。 スタッフにもらしるを求められる事例を紹介、理解する。 スタッフにもらしると表が出力に、時期である認識。 スタッフにもらしるを求められる事例を紹介、理解する。 スタッフにもらしるを求められる事例を紹介、理解する。 スタッフにもらしるを求められる事例を紹介、理解する。 スタッフにもらしるを求められる事例を紹介、理解する。 スタッフにもらしるを求められる事例を紹介。 スタッフにもらしるを求められる事例を紹介、理解する。 スタッフにもらしるを求められる事例を紹介。 スタッフにもらしるを求められる事例を紹介。 スタッフにもらしるを求めたる認識に関係を紹介しると認識に対していると思解しておく。 スターエールではいるとを認めておいるととのと書点を感じておく。 スタッフにもらしるを求められる事例を紹介。 スターエールではいるとを認めておいるととのと書点を確認しておく。 スターエールではいるととのと表においるととがあれば確認、カードを表しましておく。 会能ととに作成が異なるが異様で打合せのための確認をする。 スタープ配信やかDなどソフト化するときの権利と確認、カードを主がいる権利を確認。 スタープ配信やかDなどソフト化するときの権利を確認。 スターア・ディアンが作りなどソフト化するときの権利を確認。 スターア・ディアンととが所要な スターア・ディアンが作りなど、スターア・ディアンとは、会別ではないのよりの意見ができるようにしておく。 ファール 機を使い、実務を行う上で意識すべる主義を確認しておく。 カートのとは、カートのとは、スターア・ディア・スターア・ディア・スターア・スターア・スターア・スターア・スターア・スターア・スターア・スター			
4 とミュージシャン			
1 日	3		
日分らしさを探し			
1			
国内で最も開催されているセールスプロモーションイベントの概要	3		
イベント産業	L		
□ 10 本の 1			
1	3		
7 ビジネス相場   数、公演数、都内の地理や交通手段、人口などの相場   2 日本国内の人口 公演数の決定などでは都市の人口など基本情報が必須である。     8 映像、Visual   音楽ソフトの販売に限らす、MV、PP、ホリの映像など、音楽に関わる映像など、音楽に関わる映像など、音楽に関わる映像を知る   1 映像の仕事 いやドラマ制作を事的に、映像業界の業種を理解しておく。     9 各種書類   専展契約書など実際の契約書と合わせて確認する   2 ブリブロとポスプロ 企画・編成から完パケまでの業務の流れを理解しておく。     2 出演契約書 カせて確認する   2 出演契約書 コンサート・プロモーターと事務所間での契約内容を確認しておく。     1 和 ビジネス   1 取物他授業で解説をされている権利を、コンサート・アコスの対応で確認する。   2 出演契約書 コンサート・プロモーターと事務所間での契約内容を確認する。     2 別 中華などに関わる権利を確認。   2 カイン配信やDVDなどソフト化するときの権利を確認。     2 別 中華などに関わる権利   ラジオやTVなどスポットで関わる申請と許諾を確認しておく。     3 宣伝に関わる権利   ラジオやTVなどスポットで関わる申請と許諾を確認しておく。     4 企画段階   カイを画をなど新人でも意識すべき楽務を確認しておく。     2 制作   ステージ制作以外にも企画/運営において管理意識を確認しておく。     2 対のているつもりをやめる   1 ロックとは ロックとはなにか、自分なりの説明ができるようにしておく。     3 テクニカル   機材を使い業務を行う上で意識すべき素務を確認しておく。     4 かっているつもりをやめる   1 ロックとは ロックとはなにか、自分なりの説明ができるようにしておく。     3 所書   専門的な語彙は専門業務を遂行する上で表生などめ理解する。     4 体表ということがあれば確認しておく。   1 ロックとは ロックとはなにか、自分なりの説明ができるようにしておく。     5 が続して働いとなどがあれば確認しておく。   2 HIP HOPとは 意味を分からずに使わないようにしておく。     6 本種に対する。   1 カータとはなにかってきるようにしておく。     7 かっているつものに対する。   2 HIP HOPとは 意味を分からずに使わないようにしておく。     8 が職して働いているのはなどのよりによるときながあればなど			
## と			
1 映像、Visual	3		
10   11   2   2   2   2   2   2   2   2	<u> </u>		
8 映像など、音楽に関わる映像を知る   2 フリノロとホスノロ 記画・編成が5元パケまでの業務の流れを理解しておく。     9 各種書類   専属契約書など実際の契約書など実際の契約書など実際の契約書など実際の契約書など実際の契約書などで確認する   1 マネジメント契約書 実際の契約書にて、甲乙の負担や比率などを確認しておく。     10 権利ビジネス   前期他授業で解説をされている権利を、コンサートに関わる権 カートやフェスでの対応で確認する   1 コンサートに関わる権 カール使用の場合、著作権団体や官公庁への申請書類を確認。     11 各業種におけるマネジメントするのは上司だけではなく、意識を持つことが肝要   1 企画段階 分析や調整など新人でも意識すべき業務を確認しておく。     2 制作 ステージ制作以外にも企画/運営において管理意識を確認する。     3 テクニカル 機材を使い業務を行う上で意識すべき業務を確認しておく。     2 制作 ステージ制作以外にも企画/運営において管理意識を確認する。     3 アクニカル 機材を使い業務を行う上で意識すべき素務を確認しておく。     4 企画段階 ステージ制作以外にも企画/運営において管理意識を確認する。     3 アクニカル 機材を使い業務を行う上で意識すべき点を確認しておく。     4 かっているつもりをやめる およことがあれば確認しておく。   1 ロックとは ロックとは ロックとはなにか、自分なりの説明ができるようにしておく。     5 非子とからずに使わないようにしておく。背景を理解する。   1 肝P HOPとは 意味を分からずに使わないようにしておく。背景を理解する。     1			
3	3		
9 各種書類 契約書や申請書、図面を使い業務内容と合わせて確認する 2 出演契約書 コンサート・プロモーターと事務所間での契約内容を確認する。   10 権利ビジネス 前期他授業で解説をされている権利を、コンサートに関わる権力にいる権利を、コンサートやフェスでの対応で確認する 1 別収中継などに関わる権力を確認。 カートやフェスでの対応で確認する 2 別収中継などに関わる権力を確認。   11 各業種におけるマネジメントするのは上司だけではなく、意識を持つことが肝要 1 企画段階 分析や調整など新人でも意識すべき業務を確認しておく。   2 制作 ステージ制作以外にも企画/運営において管理意識を確認する。 3 テクニカル 機材を使い業務を行う上で意識すべき素務を確認しておく。   12 知っているつもりをやめる 1 ロックとは ロックとはなにか、自分なりの説明ができるようにしておく。   1 中外とは 意味を分からずに使わないようにしておく。背景を理解する。 3 用語 専門的な語彙は専門業務を遂行する上で必要なため理解する。   1 か、となく流してしまっていることがあれば確認しておく。 1 市計 中的とは 意味を分からずに使わないようにしておく。背景を理解する。   1 中外とは 意味を分からずに使わないようにしておく。背景を理解する。 1 売上から給与が出る 働いてお金を得る、実際は売上に対して責任を持つのが社員。   2 会社に入る 働き方の中で会社に入るメリットを解説し、意欲につなげる。			
10   を使い業務内容と合わせて確認する   2 出演契利者   コンサート・プロセーターと事務所間での契約内容を確認する。     10   前期他授業で解説をされている権利を、コンサートやフェスでの対応で確認する   1 コンサートに関わる権利・ホール使用の場合、著作権団体や官公庁への申請書類を確認。     11   各業種におけるマネジメント・するのは上司だけではなく、意識を持つことが肝要   1 企画段階   分析や調整など新人でも意識すべき業務を確認しておく。     12   知っているつもりをやめる   コトバや手法など、なりとなく流してしまっていることがあれば確認しておく。   1 ロックとは ロックとはなにか、自分なりの説明ができるようにしておく。 青泉を理解する。     13   仕事に就く   就職して働いて金銭を得るということはどういうことはどういうことは、2 会社に入る   1 売上から給与が出る 働いてお金を得る、実際は売上に対して責任を持つのが社員。     13   仕事に就く   1 売上から給与が出る 働き方の中で会社に入るメリットを解説し、意欲につなげる。			
11   11   12   13   13   14   14   15   15   15   15   15   15	3		
11   11   12   12   13   14   15   15   15   15   15   15   15			
10   権利とシイス			
11   各業種におけるマネジメント   1   企画段階   分析や調整など新人でも意識すべき業務を確認しておく。     2   制作   ステージ制作以外にも企画/運営において管理意識を確認する。     3   テクニカル   機材を使い業務を行う上で意識すべき点を確認しておく。     12   知っているつもりをやめる   コトバや手法など、なんとなく流してしまっていることがあれば確認しておく。   1 ロックとは ロックとはなにか、自分なりの説明ができるようにしておく。     2   HIP HOPとは 意味を分からずに使わないようにしておく。背景を理解する。     3   用語 専門的な語彙は専門業務を遂行する上で必要なため理解する。     3   用語 専門的な語彙は専門業務を遂行する上で必要なため理解する。     4   表述に入る 働き方の中で会社に入るメリットを解説し、意欲につなげる。	3		
11 各業種におけるマネントするのは上司だけではなく、意識を持つことが肝要 2 制作 ステージ制作以外にも企画/運営において管理意識を確認する。   12 知っているつもりをやめる コトバや手法など、なんとなく流してしまっていることがあれば確認しておく。 1 ロックとはロックとはなにか、自分なりの説明ができるようにしておく。   2 HIP HOPとは意味を分からずに使わないようにしておく。背景を理解する。 3 用語 専門的な語彙は専門業務を遂行する上で必要なため理解する。   3 成職して働いて金銭を得るということはどういうことか、採用側のないうことか、採用側のないうことか、採用側の 2 会社に入る 働き方の中で会社に入るメリットを解説し、意欲につなげる。			
11   ネジメント	:<.		
12   コトバや手法など、な	3		
12   知っているつもり			
12   をやめる			
認しておく。   3 用語   専門的な語彙は専門業務を遂行する上で必要なため理解する。   就職して働いて金銭を   1 売上から給与が出る   働いてお金を得る、実際は売上に対して責任を持つのが社員。   得るということはどう   公うことか、採用側の   全会社に入る   働き方の中で会社に入るメリットを解説し、意欲につなげる。	3		
13 仕事に就く	1		
13 仕事に就く いうことか、採用側の 2 会社に入る 働き方の中で会社に入るメリットを解説し、意欲につなける。			
視点で知る 3新人を採用する理由 会社が新人にもとめていることを家廳の事例で理解しておく	3		
O MINICONNI DETERMINATION OF THE MEMORITATION OF THE CONTROL OF TH			
初めて知る内容からこ 1 新譜 過去作品を含め自分にとっての新譜をどれだけ聴いたか確認。			
14  後期のまとめ    ぼれ落ちている情報を    2  ライブ    都内会場のなどでどのくらい聴くことができたかを確認。	3		
再度確認して理解する 3 市場 大都市での人の多さ=市場の大きさを体験できたかを確認。	1		
音楽ビジネス・マー年の内容を掻いつま 1 マネジメントとは マネージャー業務だけでなく業種共通の内容を確認しておく。			
15   ネージメントのま   ケ飯り返る。 見たくい   2   基本の徹底   いつの間にか悪い癖になっていることは自分で修正する。	3		
とめ が当然である 3 成長 思考や行動が変わったか、良い癖になったかを自己分析する。			

評価方法:1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった

備考 等